

★★10時からの開催です！

第40回 許すな！靖国国営化 8.15東京集会

日時:2013年8月15日(木)午前10時～12時(開場9:30)

原発・原爆と憲法改悪

～軍事化・核の問題～

世論調査によれば、脱原発に6割の国民が賛成です。フクシマ以後、当然の数値です。それでも選挙になると原発推進の政党が勝ちます。世論調査によれば、憲法96条改とそれに引き続く9条改定に6割の国民が反対です。地道な草の根運動の成果が数値にあらわれています。それでも選挙になると改憲を掲げる政党が勝ちます。いったいなぜなのでしょう。

原因は敗戦後のわたしたちの歩みにあるように思えます。結局明治政府以来の「富国強兵政策」から抜け切っていないことが問題です。お金儲けがすべての基準であるので、軍需産業という倫理にもとる商業が肯定されてしまうのです。また大国意識から抜け切っていないので、特に中国や韓国・北朝鮮への武力行使を肯定しがちなのです。

■講師：内藤 新吾 氏

1961年兵庫県生まれ。2011年3月まで日本福音ルーテル掛川・菊川教会（静岡県）で牧師を務め、同時に浜岡原発の反対運動に携わる。現在は同稔台教会（千葉県松戸市）に勤務。著書に『キリスト者として原発をどう考えるか』（いのちのことば社）。「原子力行政を問い直す宗教者の会」事務局4人の1人。

集会賛同金にご協力をお願いします。

個人 一口1,000円/団体 一口3,000円

カンパ振込先(郵便振替)

00160-4-86377 8.15 東京集会実行委員会

平和祈禱会：午前7時
於）千鳥が淵戦没者墓苑

原爆（核武装）と原発の根っこは軍需産業による金儲けという意味で同じです。「それで何が悪いか」と開き直る者たちが今、政権に就いています。わたしたちの経済最優先の考え方がその人たちを選んでいきます。

そしてそのような政治家は靖国参拝をし、戦争を肯定して行くのです。

現憲法にある主権在民の原則・平和主義の原則から国家権力をきちんと批判しなくてははいけません。

今年は原子力行政の問題に長い間取り組み続けている内藤新吾さん（日本福音ルーテル教会稔台教会牧師）をお迎えして、現在の軍備増強政策・原発推進政策・改憲政策が相互に関係し合っているということをお話しいただきます。みなさんふるってご参加ください。

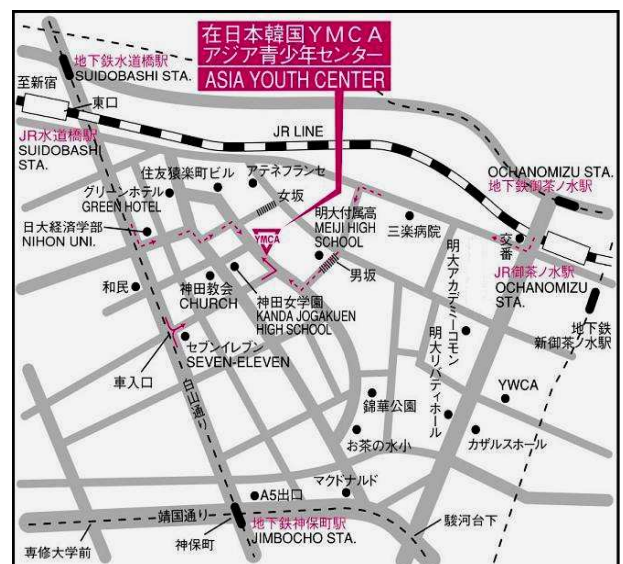
★会場費:800円(高校生以下無料)

★場所:在日本韓国 YMCA

アジア青少年センタースペースワイホール(地下)

JR 水道橋駅徒歩6分、御茶ノ水駅徒歩9分、

地下鉄神保町駅徒歩7分



主催:8.15東京集会実行委員会 後援:日本キリスト教協議会(NCC)靖国神社問題委員会